

# AI・ロボット 転機予報 Part2

⑥

## 単機能で捉える

ビジネスの文脈で人工知能(AI)という言葉が使われる時、それが何なのかという認識にギャップを感じる。AI導入の際にも、ステ「単機能」度合いは、

## AI導入成功のコツ

「AIとは万能なもの」という極端な認識は減ってきている。しかし、今なおAI技術ができることについて、過大なイメージを持っている人は多いようだ。

「AIとは万能なもの」という極端な認識は減ってきている。しかし、今なおAI技術ができることについて、過大なイメージを持っている人は多いようだ。

通常想定される範囲より狭い。音声やテキストに変える技術や、画像を見て何が写っているかを判定する技術といったレベルで「フェイスブック」などで写真をアップロードすると、写っている人が誰かを示すタグが自動的に付けられる機能がある。

### 複数で構成

これはユーザー体験と単純なことで、AIで代替しようとするが、技術的には複数の単機能AIが組み合わせられている。例えば、「フェイスブック」などで写真をアップロードすると、写っている人が誰かを示すタグが自動的に付けられる機能がある。

### 俯瞰し共有する

AIのカスタマイズを「カスタマイズする」という発想が必要になる。もちろんパッケージ商品など汎用性を目的に発売されているようなソリューションで解

# 「カスタマイズ発想」が必要

07年(平19)産業技術総合研究所入所。12年ボストン・コンサルティング・グループ入社。AI系のスタートアップ企業を経て、16年にLaboro AIを創業。

Laboro AI  
代表取締役CTO  
藤原 弘将



07年(平19)産業技術総合研究所入所。12年ボストン・コンサルティング・グループ入社。AI系のスタートアップ企業を経て、16年にLaboro AIを創業。

「ポイント検出」、顔かにはギャップがある。同士の比べて同じ人か、どうかを判断するAI(顔照合)の三つからなる場合が多い。それぞれは個別の学習データを使って個別に構築される。

### 技術組み合わせ

その前提に基づく導入する場合にAIを対応できるケースは少なくなる。カスタマイズが必要になる。

(金曜日に掲載)